

日本海を 熱く語れ。

日本海にぎわい・ 交流海道ネットワーク 10周年記念フォーラム in・Sakata

フォーラムテーマ

港のにぎわい・交流・まちづくり

2004 **8月19日(木)** Open 15:00
Start 15:30-17:00

会場 ● 東北公益文科大学大教室

山形県酒田市飯森山3-5-1

お車でご来場の方は、構内の案内にしたいご入場ください。

先着定員200名 入場無料

主催 ● 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク

URL <http://www.nihonkai-nigiwai.com/>

お問い合わせ ● 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局

(国土交通省北陸地方整備局港湾空港部港湾計画課)

Tel.025-265-7781

FM Radio Magazine
「日本海にぎわい交流海道」
FM放送決定

日本海側全15局で共同制作する特別番組が放送されます。

FM-NIIGATAをKey Stationに日本海側16道府県、

FM15局の人気パーソナリティと繋ぎ、市町村・港をご紹介

まだ、知られていない日本海の魅力をたっぷりとお伝えます。

ラジオを聴いて、携帯サイト <http://www.nihonkai-nigiwai.com/m/> に

アクセスすると日本海名産品を抽選プレゼント!

インターネット、携帯でもご応募できます。

放送日時 ● 8.22(日) 19:00-20:55

AIR-G⁺、エフエム山形、FM-NIIGATA、FMとやま

エフエム石川、FM福井、FM山陰、FM山口、FM佐賀、FM長崎

● 8.23(月) 19:00-20:55 エフエム秋田

● 8.28(土) 21:00-22:55 α-STATION FM京都

● 8.29(日) 18:00-19:55 Kiss-FM KOBE

19:00-20:55 エフエム青森、fm fukuoka

※放送日時は予告なく変更することがあります。

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク 10周年記念フォーラム in Sakata

古くから西廻航路によって交流・文化を育んできた日本海沿岸地域。そして今、各地域の個性豊かな活動をもとに、港湾を核とした「ゆるやかな連携」づくりを進めています。地域をもっと元気にするために、海を活用したまちづくり、クルーズによる地方の交流を私たちと一緒に考えてみませんか。

プログラム

① 主催者挨拶 ● 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク代表
新潟市長 篠田 昭

② フォーラム ●
「港のにぎわい・交流・まちづくり」

地方の時代を迎えたこの時期。それぞれの自治体が個性ある「まちづくり」を進めるため、どのような取組みが行われているのか情報を提供しあい、「みなと」という資源を活用した「まちづくり」について意見交換し、地方振興を考えます。

開催場所

東北公益文科大学 大教室にて

〒998-8590
山形県酒田市柳森山三丁目5番地の1
tel.0234-41-1117(代)

※お車でお越しの方は
構内の案内にしたがい、
ご入場ください。



パネル展

各地のまつりを写真で紹介。また、毎年8月に行われ、真夏の夜を華やかに彩る花火ショーや甚句流しに、港を生かしたまちづくりの姿が見えてきます。



出演者



水戸部 浩子 [コーディネーター]

● 酒田港女みなと会議 座長
● 荘内日報論説委員

プロフィール◎港に関わって約11年。港湾雜誌に「女みなと会議」を呼びかけて13年経ち、全国に女性ネットワークができ、地方港が輝く時代をぜひ女性の手でと思っている。おなじく地方紙にこだわりの地域性を追求してきた。丹山ダムを16年間にわたって取材し河川協会の功労賞を受賞。現在、国土交通省社会資本整備審議会河川分科会、山形県地方港湾審議会の各委員を務める。



大井 紀子 [パネラー]

● 日本テレビ放送網(株) コンプライアンス推進室 参考

プロフィール◎TV番組のチーフ・プロデューサーとして「とんねるずの生でダラダラいかせて!」、「知ってるつもり!」、「おしゃべりカンパニー」などの人気番組を手掛けた。コンテンツ事業局事業部長を経て映画、舞台作品をプロデュース。平成14年、日生劇場公演「ありがとうサボテン先生」は好評を博した。新世紀港開港100周年記念委員会を務め、今年度より富山新港土地利権検討委員会委員。



田中 三郎 [パネラー]

● 郵船クルーズ(株) 運航部長

プロフィール◎昭和23年生。東京都出身。昭和44年日本郵船株式会社入社。航海士として、貨物船・コンテナ船・油槽船などに乗船勤務の合間に母校島根県立高等学校海学科教員・日本郵船横浜支店などの海上勤務を経験。昭和63年より郵船業務に取り組み。現在は、郵船クルーズ株式会社運航部長として、クルーズ船航路の運航業務全般に携わっている。



阿部 寿一 [パネラー]

● 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク 副代表
● 酒田市長

プロフィール◎現酒田市長。平成15年、任期満了にともなう市長選で再選を果たす。山形倉庫併設の「酒田夢の倶楽部」や「さかた海鮮市場」を整備し、資源のリサイクル化に対応する港づくりとして「リサイクルポート構想」を推進。酒田市の魅力向上、活性化で日本海沿岸地域の交流人口増加をめざす。日本海にぎわい・交流海道ネットワーク副代表を務める。



篠田 昭 [パネラー]

● 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク 代表
● 新潟市長

プロフィール◎現新潟市長。昭和47年、上智大学外国語学部卒業後、新潟日報社に入社。平成7年4月より編集長報道部長代理兼編集委員を務める。平成12年4月共同支社の報道部長兼編集委員を経て、平成13年4月から該社委員兼編集委員となる。平成14年9月に新潟日報社を退社し、11月より新潟市長に就任。日本海にぎわい・交流海道ネットワーク代表を務める。



野竹 和夫 [パネラー]

● 国土交通省東北地方整備局 副局長

プロフィール◎昭和26年愛知県出身。昭和49年運輸省(現国土交通省)入省後、第五港湾建設局、大臣官房、国有鉄道改革推進部、鉄道局など鉄道局を中心に歩み、平成10年4月より、鉄道局施設課長、平成12年7月より鉄道局技術企画課長に就任。平成14年4月より関東運輸局次長を務め、平成16年7月より現職。

酒 田 市 観 光 紹 介



日和山公園

酒田港が一望できる日和山公園。復元された千石船や六角灯台に、狂時の港町酒田が輝かされる。



山居倉庫

今も商業倉庫として利用される明治時代の木造。柳並木と見せる四季街々の美しい景色は有名。



さかた海鮮市場

日本海の新鮮な魚介類が揃う酒田の新たな観光拠点。戦島との定期船が行き交う港は目の前。



土門拳記念館

酒田出身の写真家、故土門拳の全作品7万点を収蔵・展示した日本でも最初の写真専門美術館。



出羽造心館

和室や板の間、客室「泉流地」を備えた数寄屋造りの生け花学習施設。建物からの眺望も見事。